

環境との共創共生

環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2021)

「エンドレス グリーン プログラム 2021」(2019～2021年度)では、新たに海外も含めた全グループ会社を対象に「環境と企業収益の両立」に向けて、「ライフサイクル思考にもとづくグループ・グローバル一体での環境経営の推進」をさらに加速し、なかでも脱炭素化に向けた取り組みに重点を置いて進めます。

「エンドレス グリーン プログラム 2021」重点方針

① SBT・EP100・RE100の実現に向け、商品とモノづくりの両面から“脱炭素”を推進

ZEH・ZEB・グリーンビルディング認証の推進



- 戸建商品のZEH仕様標準化
- 太陽光発電システムの搭載率向上
- 官民連携によるZEBセミナー・見学会の開催
- 自社開発案件のBELS☆4以上推奨

自社施設の省エネ化と再エネの導入



- 新築施設のZEB化
- 既存施設の省エネ運用や省エネ設備への更新
- 再生可能エネルギー発電事業の拡大
- 再生可能エネルギー電力の調達

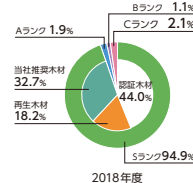
② サプライチェーンにおける環境リスク低減に向け、win-winの取り組みを協働

脱炭素の取り組み強化



- 主要取引先の温室効果ガス排出量削減支援
- 環境方針説明会、勉強会の実施
- 主要取引先工場の省エネ診断の実施

持続可能な木材調達の推進



- Sランク木材の拡大
(認証木材の調達推進、
合法性確認書類の入手徹底)
- Cランク木材の排除
(高リスク地域産木材の調達禁止)

③ 事業競争力の向上に向け、環境配慮商品・サービスの開発・普及を推進

環境配慮商品・サービスの開発と普及



- Housing
ZEH・省エネ改修工事(戸建
住宅、賃貸住宅、マンション)など



- Business
ZEB・省エネ改修工事(商業・
事業施設)など



- Energy
再エネ売電事業など



- Green 他
緑化事業、エコカーリース事業など

④ 環境ブランド・ESG 評価の向上に向け、戦略的な環境コミュニケーションを推進

ESG 評価向上



- サステナビリティレポートや統合報告書、
外部アンケート回答の内容拡充
- 機関投資家やESG評価機関などとの対話
- 社外からのより高い要請に対応すべく、
環境活動のさらなる改善

環境ブランドの定着



- 環境を切り口とした顧客リレーション強化
(グループをあげ、顧客との多様な関係づくり)
- 一般生活者への環境訴求強化
(エコファースト認定の活用など)

⑤ 環境経営の推進に向け、グループ・グローバル一体での環境マネジメントを強化

国内主要グループ会社のマネジメント強化



- トップダウンの強化
(環境経営研修会、マネジメントレビュー強化)
- 環境教育
(体制整備、階層別・職種別研修の強化)
- 環境法管理体制
(ITによる法管理体制の構築)

環境行動計画の対象範囲を海外に拡大



- 海外連結子会社を
含めた目標管理の
実施
- 環境負荷の大きい
海外主要3社の環
境マネジメント体
制構築

「エンドレス グリーン プログラム 2021」基本方針

「エンドレス グリーン プログラム 2021」重点方針を踏まえ、各テーマ、各段階ごとに基本方針を定めています。

重点テーマ	段階	基本方針
総合	商品・サービス	▶環境を切り口にした商品・サービスを開発・販売し、環境と企業収益の両立を推進
気候変動の緩和と適応	調達	▶主要取引先における目標設定および取り組み推進に向けた支援
	自社活動	▶新築施設のZEB化、既存施設の省エネ運用改善および計画的な設備更新の継続 ▶再生可能エネルギー（風・太陽・水・バイオマス）による発電事業の拡大
	商品・サービス	▶ZEH・ZEB・グリーンビルディング認証の推進
自然環境との調和と生物多様性保全	調達	▶持続可能な木材調達の推進
	自社活動	▶自社・グループ会社施設における緑化の推進
	商品・サービス	▶開発・街づくりにおける緑の保全・創出の推進
資源保護	調達	▶資源投入量の削減
	自社活動	▶建設廃棄物における3R活動の推進/サービス施設におけるプラスチック3R活動
	商品・サービス	▶資源循環型商品（高耐久・長寿命・省資源）の開発および普及
水資源保護	調達・自社活動 商品・サービス	▶水リスクの把握とリスク低減
化学物質による汚染の防止	調達	▶調達建材における化学物質管理の強化
	自社活動	▶生産段階における化学物質の削減
	商品・サービス	▶居住系施設における室内空気質のさらなる改善
環境経営基盤強化	環境リスク管理	▶自律的なグループ環境法令管理体制の運用
	環境教育	▶環境経営人財の育成、全社員の環境意識・知識の向上
	マネジメント	▶グループ・グローバル一体での環境経営の推進
	コミュニケーション	▶戦略的かつ効果的な情報開示、環境コミュニケーションの推進

「エンドレス グリーン プログラム 2021」目標一覧

「エンドレス グリーン プログラム 2021」基本方針に基づき、各テーマ、各項目ごとに目標を定めています。

重点テーマ	段階	管理指標	2018実績	2021目標
総合	商品・サービス	環境貢献型事業の売上高	11,600億円	15,000億円
気候変動の緩和と適応	調達	主要取引先の温室効果ガス削減目標 設定率 SBT	54%	90%
	自社活動	温室効果ガス排出量（売上高あたり） 2015年度比* SBT	▲27%	▲35%
		エネルギー効率（エネルギー消費量あたり売上高） 2015年度比 EP100	1.27倍	1.4倍
		再エネ利用率 RE100	0.23%	3%
		再エネ率（売電含む）	85%	85%
	商品・サービス	商品の使用による温室効果ガス排出量（面積あたり） 2015年度比 SBT	+20%	▲6%
		ZEH販売率	29%	60%
		ZEB販売率	22%	30%
		開発案件におけるグリーンビルディング認証率	15%	70%
自然環境との調和と生物多様性保全	調達	Sランク木材比率・Cランク木材比率	94.9%・2.1%	97%・0%
	自社活動	緑あふれる自社施設の開発（累積）	4施設	8施設
	商品・サービス	生物多様性 自主基準適合率	100%	100%
資源保護	自社活動	生産 建設廃棄物排出量（売上高あたり）	62kg/百万円	62kg/百万円以下
		施工 建設廃棄物排出量（面積あたり）	19kg/㎡	19kg/㎡以下
		建設廃棄物のリサイクル率	96.6%	97%以上
		廃プラスチックのリサイクル率	90.1%	90%以上
		プラスチック製レジ袋購入量 2017年度比	—	▲5%
水資源保護	自社活動	水使用量（売上高あたり） 2012年度比	▲31.1%	▲34%
	商品・サービス	節水機器採用率	94%	97%
化学物質による汚染の防止	自社活動	PRTR排出・移動量（売上高あたり） 2012年度比	▲49.9%	▲50%以上
		VOC排出量（売上高あたり） 2013年度比	▲20.4%	▲21%以上
	商品・サービス	室内空気質 自主基準適合率	100%	100%
環境経営基盤強化		ECO検定合格者数	4,402人	10,000人
		グリーン購入率	—	95%以上

* 温室効果ガス排出量について、SBT認定の取得に伴い、EGP2021より基準年を2015年度に変更するとともに、対象範囲を海外連結子会社にも拡大、CO₂排出係数も変更しています。また、環境長期ビジョンに対する進捗状況はP219-220に掲載しています。